

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会
地上業務委員会(第77回) 議事概要

1 日 時

令和5年6月28日(水)14:00~14:50

2 場 所

Web会議

3 出 席 者(敬称略、順不同)

[委員・専門委員]

三瓶 政一(主査:大阪大学)、辻 宏之(主査代理:情報通信研究機構)、新 博行(NTTド
コモ)、飯塚 留美(マルチメディア振興センター)、大槻 秀夫(日本無線)、上村 治(ソフト
バンク)、斉藤 佳子(パナソニック コネクト)、西岡 誠治(電波産業会)、福家 裕(日本電
信電話)、増田 浩代(富士通)

[関係者]

宮寺 好男(日本無線)、柴垣 信彦(日立国際電気)、北原 貴子(三菱総合研究所)
鞆田 健(三菱総合研究所)

[事務局]

総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室 吉積課長補佐、重成係長、柴田官
基幹・衛星移動通信課 和田課長補佐、塚田官、松本官

4 配 付 資 料

資料地-77-1	地上業務委員会(第76回)議事概要(案)
資料地-77-2	ITU-R SG 5 WP5B第30回会合報告書(案)
資料地-77-3	ITU-R SG 5 WP5B第31回会合への日本寄与文書(案)
資料地-77-4	ITU-R SG 5 WP5B第31回会合の対処方針(案)
参考資料1	ITU-R SG 5 WP5B第31回会合の開催案内
参考資料2	ITU-R SG 5 WP5B第31回会合の日本代表団一覧
参考資料3	地上業務委員会 構成員名簿

5 議 事 概 要

(1) 地上業務委員会(第76回)議事概要について

【資料地-77-1】

地上業務委員会(第76回)の議事概要について事務局から説明があり、意見等がある場合は、速やかに事務局に連絡することとされた。

(2) ITU-R SG 5 WP5B 第30回会合の報告について

【資料地-77-2】

資料地-77-2に基づき、事務局より前回のITU-R SG 5 WP5B第30回会合の報告が行われた。

(3) ITU-R SG 5 WP5B 第31回会合への日本寄与文書(案)について

【資料地-77-3】

事務局から、ITU-R SG 5 WP5B第31回会合への日本寄与文書案は計5件であると説明があった。

【資料地-77-3-1】

「ITU-R改訂勧告草案M.493-15の修正提案 海上移動業務で用いるデジタル選択呼出システム」について、日本無線の宮寺氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

新構成員 Proposalの記載で、『clarifications and editorial amendments』といった表現になっているが、内容に関わる修正があるので、記載を見直すべきではないか。

宮寺氏 御指摘のとおりである。地-77-3-01 及び地-77-3-02 については上記の記載しかないため、内容の修正(DSC の技術特性の見直し等)がある旨を追記することとしたい。

三瓶主査 地-77-3-01 及び地-77-3-02 について、修正をして、事務局まで本日中に提出していただきたい。

【資料地-77-3-2】

「ITU-R改訂勧告草案M.493-10の修正提案 海上移動業務で用いるデジタル選択呼出装置の運用手順」について、日本無線の宮寺氏から説明がなされ、特に質疑なく、承認された。

【資料地－77－3－3】

「ITU-R新報告草案M.[ACS]の修正提案 MF及びHF帯におけるデジタル選択呼出通信を用いた自動回線接続システムのための船舶及び海岸局における運用手順」について、日本無線の宮寺氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

- 三瓶主査 電波伝搬の実証実験は、時期によって結果が変わると思うが、環境要因による実験結果の考えはいかがか。
- 宮寺氏 本年3月に実験を実施した。その旨記載することとしたい。
- 三瓶主査 時期的に結果が変わるのではないか。ワースト条件であれば検証結果として説得力があるが、3月に電波が通りにくいといった知見はあるか。
- 宮寺氏 季節よりも、太陽活動や昼夜の別による影響が大きい。
- 三瓶主査 当日の検証条件が厳しいのか否かで検証の解釈が異なると思うがいかがか。
- 宮寺氏 実験当日の環境条件下におけるVOACAPシミュレーション結果をのせている。
- 三瓶主査 環境条件についてのコメントを記載した方がデータの妥当性がある。
- 宮寺氏 記載については、総務省と相談して検討する。
- 大槻構成員 77-3-03の大部分が青字(修正表記)になっているが、当該項目は新たに追加されたのか。
- 宮寺氏 一部のみの修正となる。会合で説明をするのに、一部のみの青字だと作業が煩雑になる。特に、図は画像データとなるので、図の一部に修正があった場合は全て差し替えている。会合の場で説明する際は、どの部分が変わっているのかを口頭で補足することとする。

【資料地－77－3－4】

「新勧告草案M.[RAD 92-100GHZ]に向けた作業文書の修正提案」について、日立国際電気の柴垣氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

- 新構成員 表の中の単位の修正提案は問題ないと思うが、参照先の記載は『Report ITU-R M.xxx』といった正式名称で記載した方が良い。
- 柴垣氏 了。
- 新構成員 気象レーダーの記載も同様に単位の修正があったが、こちらの修正対応如何。
- 柴垣氏 当該箇所はフランス提案の気象レーダー記載部分なので、同国に任せることで問題ないと理解している。

【資料地－77－3－5】

「新ITU-R勧告草案M.[UAS_CNPC_5GHz]に対する修正提案」について、三菱総合研究所の北原氏から説明がなされ、以下の質疑応答後、承認された。

新構成員 本文書は前回の会合で PDNR に格上げされ、今回で DNR にすることが期待されているのではないかと思うが、寄与文書の中に次回会合に追加の提案を行う旨を追記してしまうと、会期をまたがった検討を示唆することになるが、問題ないか。

北原氏 本文書の他の部分を記載している米国とも事前に調整をしたが、現在、米国及び欧州で検討中の規格であり、今回会合での完成は難しいだろうといった認識を有していることを確認しており、今回の提案は問題ないことを関係者間で整合済みである。

(5) ITU-R SG 5 WP5B 第 31 回会合の対処方針案について

【資料地－77－4】

ITU-R SG 5 WP5B第31回会合の対処方針(案)について、事務局から説明が行われ、特に質疑なく承認された。

(6) その他

参考資料について、事務局から説明があった。

事務局より、本日の委員会において修正の必要があるとされた文書については速やかに事務局へ提出するように指示があった。

以上